



日蓮宗 法音寺

法音

今月のご法話

心を立て直す

令和7年
9月号
No.671

悦可衆心

よい教おしえを伝つたえよう

今日一日、

人に感謝しましう

今日一日、

人に親切にしましう

今日一日、

人を善に導きましう

月刊・法音 令和7年9月号 No.671 目次

【信仰の指針】立命りつめい 自らの使命を全うしましう 1

【朝のこない夜はない】
心を立て直す 山首 鈴木正修 2

◆秋のお彼岸です 23

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 24

◆全山一斉清掃奉仕の日のご案内 26

◆仏教漫画『日蓮さま』・④身代わりの白い犬 27

◆善智法印と妙法寺 35

◆お寺の本棚 36

◆常寂光土への誘い(38) 38

◆のりのね体験 42

◆支院だより 44

◆福祉のひろば 63

○幸せのお手伝い 64

○昭徳会・みなよし地域包括支援センターが開所しました 66

○日本福祉大学付属高校・『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで 68

◆昭徳会・福祉セミナー 71

◆幸せの種まき／編集後記 72

◆連載まんが・ひまわり・152 逆上がりでみた空 73

◆法音寺の社会福祉・教育事業 74

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・23頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

表紙写真・ユリ

信仰の指針

り
つ
め
い

立命

自らの使命を

全うしましょう

日教五



グミ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

心を立て直す

法音寺の二祖・村上斎先生は、始祖・杉山辰子先生と出会われる前は愛知県立医学専門学校（現在の名古屋大学医学部）に勤めるお医者さんでした。村上先生は代々医師の家系で、裕福な家庭に生まれ育ちましたが、ある時、人にだまされて財産の全てを失ってしまわれました。さらに、妻子にも去られ、絶望のどん底で自ら命を絶とうかと思われていた時、杉山先生と出会われたのです。

杉山先生は、医薬と妙法の修養によって、世の苦しむ人々を助きたいという志を持っておられ、協力を求めて村上先生のもとを訪ねられました。

しかし、村上先生は心優れず、「次から次へと災難



が襲い来たって困りに困り、悲観のあまり自殺をしよ
うかと考えている」と話されました。これに對して杉
山先生は因果の二法、即ち悪因悪果・善因善果の話を
インドの故事に倣ってされ、その後、「現在の苦しみ
より逃れんために自殺を遂げられても決して苦しみは
なくなりません。未来世にはより一層の苦しみを受け
ねばならなくなります。世の中にはあなたのように精
神的にも又物質的にも悩んでいる人がずいぶん多いの
です。この苦しみを逃れる道は妙法の信仰よりほかに
はありません。あなたが今の苦しみを逃れる方法は、
仏さまの教えを信じて実行し、世の中の悩める人々を
救ってあげることです。多くの人が救われた時、あな
たの不幸の因果は消滅することでありましょう」と言
われたのです。この話を聞かれた村上先生は迷いから



覚めたような心持ちになって、
後半生を信仰に生きよう。そして、悩める人々の心の病を治す医者になる
う」と決心されたのです。

《若者の命を守る取り組み》

今回は自殺に関するお話です。

厚生労働省の発表によりますと、2024年一年間で2万320人の方が自ら命を絶っています。そのうち小・中・高生が529人いるそうです。

名古屋市の河村たかし前市長は、「子どもを一人も死なせない名古屋」という公約を掲げていました。今これが広沢一郎市長に引き継がれています。河村氏によると、子どもの自殺の主な原因は「成績」と「進学」だそうです。勉強を強いられ、自分の望む学校に行け



なかったことで失望し、進路が絶たれたという思いから、自殺に至る生徒がいるといいます。

そこで公約の中で提案されたのが、「高校入試の廃止」と「高校までの義務教育化推進」です。一見突飛に聞こえるかもしれませんが、河村氏によると名古屋市の姉妹都市であるアメリカのロサンゼルス市では、高校に入る際の試験が存在しないそうです。また、高校で勉強しながら将来の職業の選択についても広く深く学べるそうです。

ロサンゼルス市の高校と日本の高校の大きな違いは、人員構成にあります。ロサンゼルス市では、教員と同数のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった、子ども達の心のケアを専門とするスタッフがいるのです。



河村氏は、市長在任中に数十億円の予算を投じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員したり、進路選択のためのキャリア教育に尽力されました。

この数十億円の原資は、市民税の減税に伴い増加した税収が充てられているとのことでした。

《ヨーロッパに広がる安楽死の法制化》

次に、イギリスで話題になっている「安楽死法案」についてです。この法案は下院で可決され、上院での採決に進むことになっています。内容はイングリランドかウェールズに一年以上在住し、正常な判断力を持つ余命半年未満と見込まれる成人の末期患者が対象で、二人の医師による審査や弁護士等の同意を経て、医師



から薬を処方され、それを自ら服用することで死を選
択するということです。

医師が患者に薬を投与する「積極的安楽死」ではな
く、厳密には「自殺補助」という形です。

世論調査では、イギリス国民の75パーセントがこの
法案に賛成しているとされていますが、一方で反対の
声もあります。反対理由として挙げられているのは、
「こうした法案を進める前に、まず終末期の質の高い
緩和ケアを充実させるべきだ」という主張です。私も
その意見に賛成です。

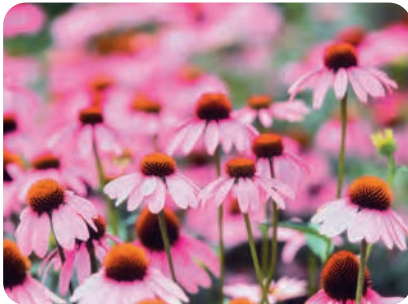
また、財政面でも心配があります。今後十年間で約
3万人がこの制度を利用すると見込まれ、その費用は
4億3千万ポンド（約850億円）にもなると試算さ
れています。また人件費の面でも、十年間で7千2百



万^{まん}ポ^ぽン^んド^ど（約^{やく}142億^{おく}円^{えん}）かかると予^よ想^{そう}され、公^{こう}共^{きょう}医^い療^{りょう}の破^は綻^{たん}が懸^け念^{ねん}されています。

ヨーロッパでは、すでに多^{おほ}くの国^{くに}で安^{あん}楽^{らく}死^しが法^{ほう}制^{せい}化^かされています。ドイツは2020年^{ねん}、スペインは2021年^{ねん}、オーストリアは2022年^{ねん}、ポルトガルは2023年^{ねん}、フランスは現^{げん}在^{ざい}法^{ほう}案^{あん}が下^{かい}院^{いん}を通過^{つうか}し、イギリスと呼^こ応^{おう}するよう^{よう}に法^{ほう}制^{せい}化^かが進^{すす}んでいます。20年^{ねん}以上^{いじょう}にオランダとベルギーは法^{ほう}制^{せい}化^かしており、昨^{さく}年^{ねん}は、オランダで約^{やく}1万^{まん}人^{にん}、ベルギーで約^{やく}4千^{せん}人^{にん}が安^{あん}楽^{らく}死^しを選^{せん}択^{たく}しました。ヨーロッパでは着^{ちやく}実^{じつ}に安^{あん}楽^{らく}死^しが広^{ひろ}まっています。

『安^{あん}楽^{らく}死^しを遂^とげた日^に本^{ほん}人^{じん}』という本^{ほん}を執^{しつ}筆^{ぴつ}したジャーナリストの宮^{みや}下^げ洋^{よう}一^{いち}さん^{さん}は、次^{つぎ}のよう^{よう}に言^いわれま^ます。「西^{にし}側^{がわ}諸^{しよ}国^{こく}、特^{とく}に個^こ人^{じん}主^{しゆ}義^ぎのヨーロッパでは自^じ己^こ決^{けつ}定^{てい}



権^{けん}を重視^{じゅうし}する文化^{ぶんか}があり、それが死ぬ^し権利^{けんり}の提唱^{ていしょう}にもつながっているのです」

宮下^{みやした}さんによると、キリスト教^{きりすとう}でもカトリック^かが厳格^{げんかく}に自殺^{じさつ}を禁^{きん}じている一方^{いっぽう}、プロテスタント^{ひかくてき}は比較的^{ひかくてき}寛容^{かんよう}で、早期^{そうき}に法制化^{ほうせい}したオランダ^かやスイスはプロテスタント^{きやうと}教徒^{おほ}が多いようです。そして何^{なに}より、ヨーロッパ^{きやうと}全体^{ぜんたい}でキリスト教徒^{きやうと}の宗教離^{しゆきやうばな}れが進^{すす}み、安楽死^{あんらくし}に對^{たい}する抵抗感^{ていこうかん}が薄^{うす}れていることが大きいのだそうです。そして、宮下^{みやした}さんが指摘^{してき}する大きな問題^{もんだい}が「滑り坂^{すべざか}理論^{りろん}（スリッパリー・スロープ）（※）」と呼ば^よばれるものです。

当初^{とうしよ}、安楽死^{あんらくし}は救命不能^{きやうめいふのう}な末期患者^{まつきかんじや}に限^{かぎ}って容認^{ようにん}されていましたが、現在^{げんざい}は〃生^いきるのがつらい〃という人^{ひと}にまで拡大^{かくだい}されています。肉体的^{にくたいてき}な苦痛^{くつう}ではなく、



人生を悲観した精神的苦痛を理由に、死を選ぶことが認められるようになってきたのです。

カナダでは2016年に安楽死が合法化されましたが、申請者の6割が貧困層だったというデータがあります。こうした人達の多くが、肉体的苦痛ではなく精神的苦痛によって安楽死を選んでいることが想像されます。「これは非常に危険な傾向だ」と、宮下さんは警鐘を鳴らしています。いずれヨーロッパの空気が日本にも伝わってくるかもしれませんが、死ぬ権利ばかりが持てはやされ、生きる権利がないがしろにされるようなことがあってはいけないと思います。

《スイス人尼僧の体験と信仰への目覚め》

ある浄土真宗の尼僧さんが新聞で紹介されていました



た。スイス人のジェシー・釋萌海さんという方です。
ジェシーさんは、浄土真宗大谷派（東本願寺）で初めての外国人住職で、現在は福井県敦賀市の高雲寺の住職を務めています。

彼女は5歳の頃に映画『ベスト・キッド』を観て、空手を習い始めました。本格的に学ぼうと、2004年に京都に移住します。2015年秋、スイスに住む健康な母親から突然「安楽死制度に申請した」と連絡がありました。スイスは、世界で最も早く自殺幫助が合法化された国です。驚いた彼女が「どういうこと？」と尋ねると、母親は「老いへの恐怖だ」と答えました。ジェシーさんは電話で泣きながら説得を重ねましたが、母親の意志は固く、翌年、70歳でこの世を去りました。彼女は怒りと悲しみで気が狂いそうになったそうです。



深く落ち込んでいたある日、東本願寺の前を通った時、「今、命があなたを生きている」という言葉が掲げられているのを目にしました。その言葉に心を打たれ、私達は生かされている存在なんだ。命を粗末にしてはいけない」と深く感じた彼女は、真宗大谷派に入信し得度しました。

昨年、高雲寺の前住職が急逝。「後を継いでほしい」と依頼を受けました。不安を抱えながら寺を訪れると、門徒達から温かく迎えられる、住職として歩む決意を固めました。

ジェシーさんは、誰にでも開かれた寺にしたい、という思いから、趣味の尺八の演奏会やチーズフォンデュを振る舞う会を開き、門徒だけでなく住民との交流を重ねているそうです。



《映画『アイ・フィール・プリーティ』が語る自己肯定》

お釈迦さまは「この世は苦である」と言われ「四苦八苦」を説かれました。人間は、老若男女を問わず、誰もが少なからず悩みや苦しみ、不安を抱えています。時にはそういうものから逃れるために、死にたい〴〵と思ってしまうこともあるでしょう。ジェシーさんのお母さんのように、第三者から見れば、そんなことで〴〵と思われるようなことでも、本人にとっては切実な問題です。

アメリカのコメディ映画『アイ・フィール・プリーティ』は、外見にコンプレックスを持つ主人公・レネーの物語です。彼女は太めの体型を気にする〇〇で、大手化粧品会社の本社近くにあるチャイナタウンの古びたビルの地下で働いています。彼女はニューヨーク



・五番街の本社に行くのが苦手でした。そこにはスタイル抜群の、モデルのような美女達ばかりが出入りしているからです。

ある日、彼女はどうしても本社へ書類を届けに行かなければならなくなりました。そこで受付の女性と話をします。受付係はハリウッド女優のような美しさを持つ女性でしたが、アルバイトだと知ります。現在受付係を募集中ということでした。

翌日、レネーはフィットネスクラブでエアロバイクに熱中し、転落して頭を強打し気を失います。意識が戻ると、自分の手足が細くなっていることに驚きます。鏡を見ると、そこには絶世の美女が映っているのです。レネーは夢が叶ったと有頂天になりますが、実際の姿は変わっていません。そう見えるのは自分だけ、周囲



の人の目にはいつもと変わらないレネーが映っていた
のです。そうとは知らず、自信過剰となったレネーは、
本社の受付係の仕事に応募し、面接で自信満々にこう
語ります。

「私はこの受付係の仕事を、みんなのようにモデルの
足がかりとは思っていません。毎日ここを訪れる人達
に、私を感じているこの高揚感を伝え与えたいのです」
面接官の一人は驚き、
「どの口が言うの？」という
顔をしますが、社長は類い稀な高い自尊心に感動し、
彼女を採用します。レネーの言動はどこまでも自信に
満ちており、最初は戸惑っていた周囲の人達も次第に
彼女の魅力に引き込まれ、恋愛も成就します。

物語の終盤、再び頭を強打した彼女は氣を失います。
意識が戻り鏡を見ると、そこには以前の太った自分が



映うつっていました。魔法まほうが解とけたとがっかりし、落おち込みます。その後、彼女かのじょは新商品発表しんしょうひんはつびようのプレゼンテーションに潜入せんにかうし、2枚まいの写真しやしんを見せて語り始めかたはじます。「こちらが魔法まほうにかかっていた時の私とき、わたし、そしてこれが今の私いま、わたしです」

会場かいじうの人達ひとたちは「同じ写真おなじしやしんじゃないか」と言いいます。

レネーがもう一度いどよく見ると確かに同おなじでした。そこで彼女かのじょは気づききます。魔法まほうではなかった、ただの思おもい込みこみだったと。

そしてレネーは言いいます。

「子どもの頃ころ、みんな自信じしんに満みちていました。太ふとっていても、走り回はしまわってパンツが見みえても、何も気なにせず笑わらっていました。どこで自信じしんをなくしたのでしょう。いつ自分じぶんを疑うたがうようになったのでしょう。自分じぶんを素晴すば



らしいと思える強さをまた持つてもいいんじゃないの
でしようか。子どもの頃の自信を思い出してください。
自分は自分なのだから」

最後にレネーは「その人の心がその人を変えるのよ。
美しくするのよ」と結びます。この後、会場は拍手喝
采となります。みんな何かしらのコンプレックスや思
い込みを持って生きているのです。

《思い込みからの解放と心の持ちよう》

脳科学者のマックス・ロックウェルは著書『アルフ
ア波 脳の仕組みを使って人生を変える』の中で、こ
う述べています。

「自分はこういう性格だと思っていることの多くは、
ただの思い込みにすぎません。そもそも性格とは、幼



少期（0歳から7歳の間）に周囲の人達、特に親の言葉や態度を、無防備に受け入れて形成された思考や行動のパターンにすぎません。つまり、性格の大半は幼い頃、脳にインプットされた思い込みです。これは意志によって変えることができるのです。なりたい自分になればいいのです。誰でもいつでもなりたい自分になれるのです」

人間は誰でも、さまざまに「思い込み」を抱えています。ジェシーさんの母親も、**「老後は大変」**という思い込みにとらわれていました。一方で、世の中には**「老後を楽しみにしている人もいます。つまり、心の持ちよう一つで人生は大きく変わるのです。」**

だからこそ、『アイ・フィール・プリティー』のレネーのように、自分を肯定し、人生を肯定して生きて



いくことが大切なのではないでしょうか。

最後にNHKで見た、事故で突然目が見えなくなつた若い男性の話です。その男性は突然視力を失い、絶望の中で「ライトハウス（視覚障がい者支援施設）」に入所します。

視力を失うということは、まさに自殺を考えてしまうほどの衝撃的な出来事だと思えます。彼は、ライトハウスで同じような状況の若い人達に、「目が見えなくなつて、一番つらいことは何？」と尋ねました。

ある男性は、「好きな女の子の顔が見えなくなつたことが一番つらいよ」と答えました。すると、近くにいた女性がこう言いました。

「大丈夫。触っちゃえばいいのよ。前は、いきなり顔



を触^{さわ}ったら怒^{おこ}られたかもしれないけど、今^{いま}はもう怒^{おこ}られないから、大^{だい}好^いきな人^{ひと}の顔^{かお}をいきなり触^{さわ}っちゃえばいいのよ」

その言葉^{ことば}を聞^きいた彼^{かれ}は、少^{すこ}し気^きが楽^{らく}になっただようでした。

また彼^{かれ}は、「これから自^じ分^{ぶん}の好^すきなことができなくなるのがつらいよ。僕^{ぼく}はお酒^{さけ}が好^すきで、居^い酒^{ざか}屋^やに行^いって、生^{なま}ビールを飲^のむのが一^{いっ}番^{ばん}の楽^{たの}しみだったんだ」と語^{かた}りました。

それを聞^きいた先^{せん}輩^{ばい}の視^し覚^{かく}障^{しょう}がい者^{しゃ}が、こ^こう言^いいました。

「ああ、それなら明日^{あす}行^いこう」

そして翌^{よく}日^{じつ}、歩^{ある}くのも慣^なれない彼^{かれ}を町^{まち}の居^い酒^{ざか}屋^やに連^つれて行^いき、二^{ふた}人^{たり}は楽^{たの}しそうに生^{なま}ビール^ののジ^あョ^まツ^まキを空^あ



けていました。

このエピソードから改めて思い知らされるのは、心の持ちようが何よりも大切だということです。どんなに絶望的な状況であっても、人は他者の支えや言葉、そして自分の心の立て直しによって、再び前を向くことが出来るのです。

※滑り坂理論とは…

ある行為を一度許してしまうと、歯止めが効かなくなり、取り返しのつかない事態になるという主張



秋のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山は

9月23日(火・祝)

秋季彼岸会が行われます。

ご家族お揃いでご参詣ください。

◆ 今月の山首上人さまご親修日程

大垣支院	9月1日(月)	四日市支院	9月3日(水)
京都支院	9月9日(火)	安城支院	9月18日(木)
和泉支院	9月21日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にござ参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住 所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)5315436
東京支院	7日・14日・27日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・21日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)3216625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)8614704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)7612504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)3211825
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)3211825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)7217208
西春支院	2日・12日・21日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)2215813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)24512939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)39119733
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)7814854
関支院	3日・13日・21日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)2210776
平賀支院	8日・21日	関市市平賀213-2	☎(0575)2313771
郡上八幡支院	8日・28日	郡上市八幡町小野721-3	☎(0575)6513933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)35213633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)2110127

☎ご連絡は本山事務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	7日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	7日・21日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	7日・21日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	6日・14日・21日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	14日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・15日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・22日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)441-5445
筑後布教所	14日・28日	筑後市大字西牟田5954-11	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	14日・21日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・23日・27日	名古屋市中昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



「まわりを喜ばせよう」

2025 全山一斉清掃

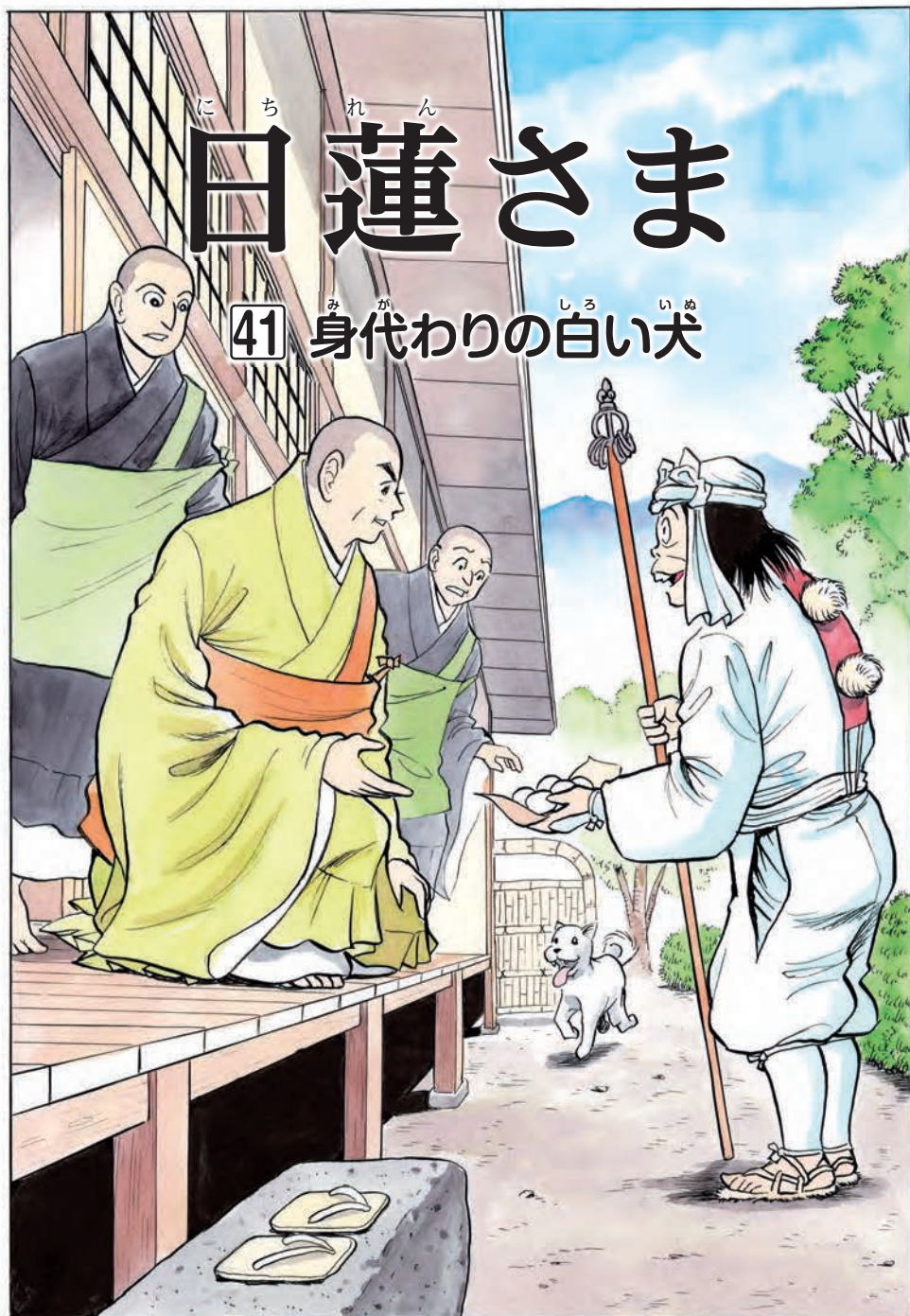
青少年育成委員会主催



徳積み

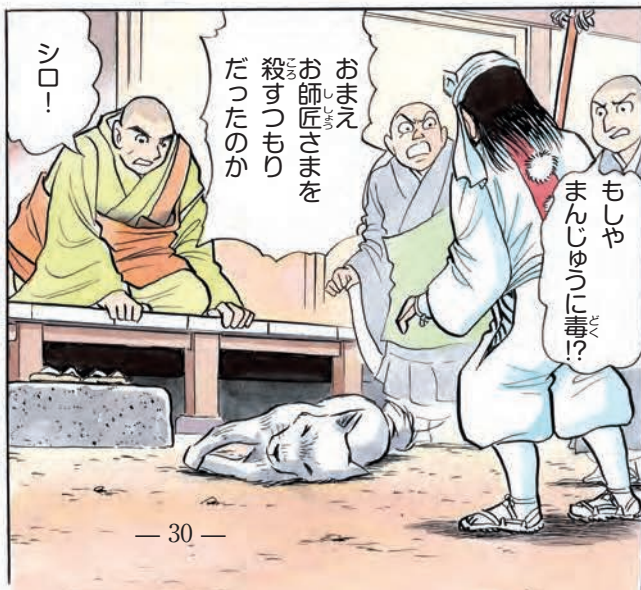


会 場 各支院・布教所の取り組み場所にて
お問い合わせ 法音寺 各支院・布教所まで











もうよい
はなして
やりなさい



ああ…
とんでもないことを
してしまった

日蓮にちれんどのこの法論ほうろんに
負まけてから悔くしくて
心こころの中なかは にえくり返かえり
どうにもおさまらず
こんなことをして
しまった お許ゆるしを



シロ… おまえは
私の身代かみしろわりに
なってくれた

忘れわすれまいぞ

善智ぜんち法印ほういん



はい どんな
おとがめも
覚悟かくごしてます

善智ぜんち法印ほういん



おのずから
よこしまに降ふる
雨あめはあらじ
風かぜこそ夜の窓まどを
打うつらめ
という歌うたがある
この意味いみが
わかるか

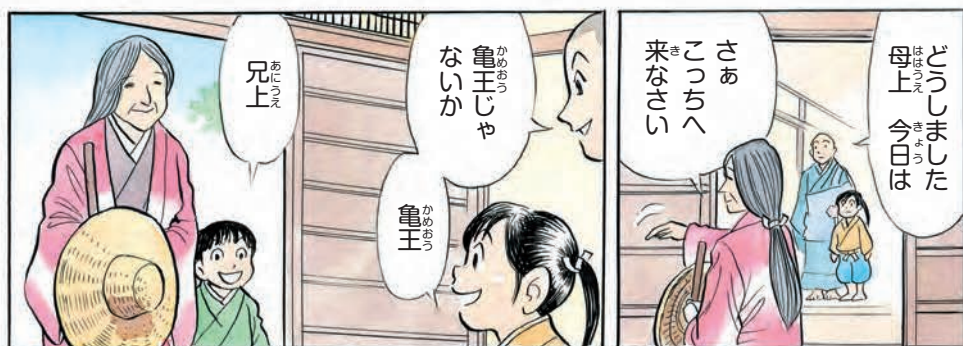
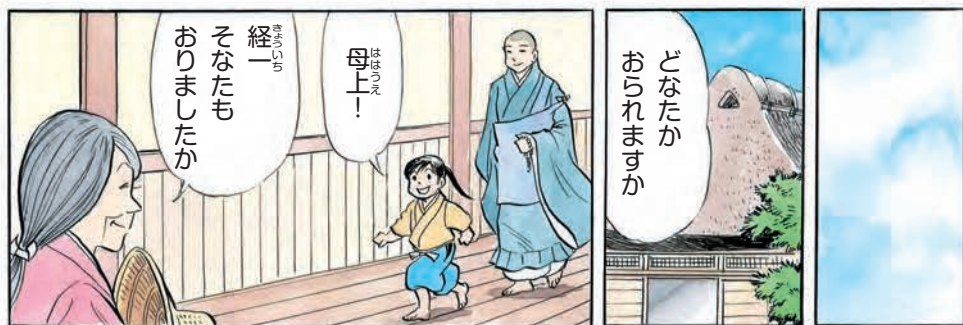


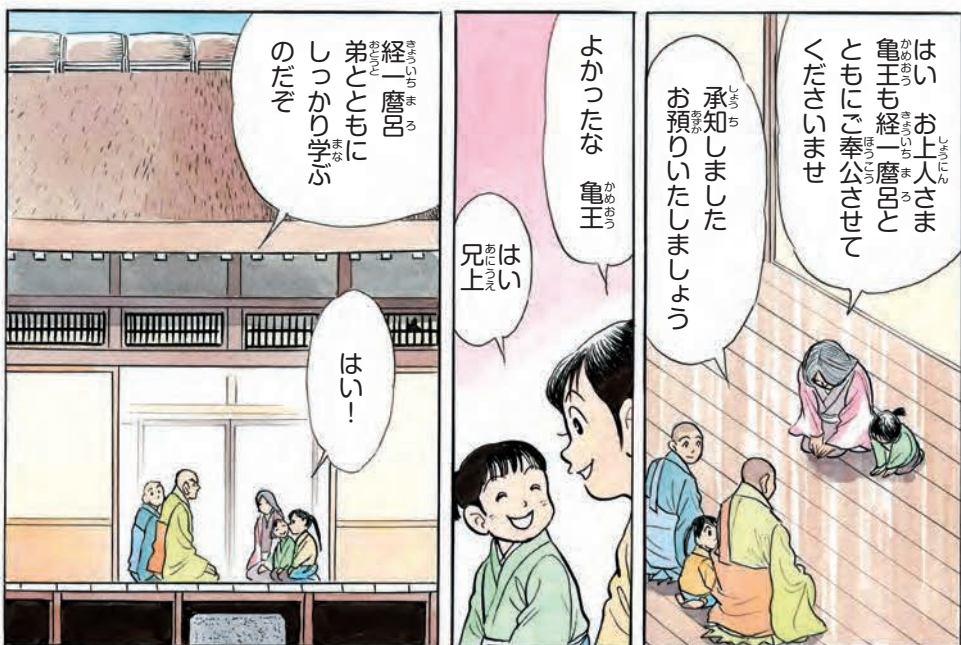
雨あめというものは斜ななめに降ふったりしない
夜の雨あめが窓まどを打うつのは風かぜが雨あめを
斜ななめに降ふらせるからだ

それと同じように 今日きょうのことは
おまえの心こころに悪魔あくまが入はいり込み
悪わるさをしたのだ









善智法印と妙法寺

妙法寺のホームページによれば、建治元年（1275年）、真言宗の僧侶であった善智法印が、身延山に隠棲していた日蓮聖人と法論を交わし、敗れて弟子となったことで日蓮宗に改宗し、「日伝」と改名したとされています。

法論に敗れた善智法印は一時、日蓮聖人に恨みを抱き、布施を装って毒入りの饅頭を差し出したところ、白犬が現れてそれを食べ、命を落としたと伝えられています。その後、善智法印は改心し、聖人に深く帰依したという逸話が残されています。

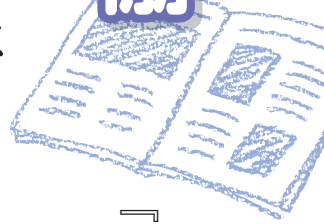
戦国時代には甲斐の武田家より寺領の寄進を受け、以降は徳川家や諸大名からも帰依を受けたと伝えられています。現在では「あじさい寺」としても知られ、毎年6月下旬の頃に開催される「あじさい祭」には、多くの参拝者が訪れて賑わいを見せているそうです。



徳栄山妙法寺 南巨摩郡富士川町小室



お寺の本棚



『大白牛車（九）』



毒に苦しむ子どもとは

私達自身のこと

着る物一つを考えた場合、どなたでも、人より良い物を着たい。

と思われましょうが、しかしいくら良い物を着てみたところで、寿命が延びるわけではありませんし、人格が向上するものでもありません。

食べ物でもそうです。高くておいしい物を食べれば長生きするかどうかという、この頃は違います。かえって粗食と言われる物の方が体のためにはいいようです。

しかし、なかなかそうは思えません。『お金もほしい、良い物を着たい。そしておいしい物を食べたい』と思うのは、それはそれで結構なのですが、『より以上に』と求める心、さらに『そのためだ』たらどんなことでも、という気持ちが、貪・瞋・痴の三毒であります。

ここに説かれる（如来寿量品・良医治子の譬え）、毒を飲んで病気になる子ども達とは、決して人のことではありません。今申しましたような貪・瞋・痴の三毒に惑わされている私ども自身のことです。

この病気の軽いうちは、本心を失っていない者は薬を飲んで治ったとありますように、法華経の





お話を聞いて理解し、素直に実行に移すことができるのですが、本当に貪・瞋・痴の毒が骨の髄までしみついてしまいますと、なかなか実行することができないのです。

そういう人に対してすら仏さまは、[〃]何とか法華經の縁を作り、実行させよう[〃]と、いろいろな方便を考えられるのであります。その手立て・方法は、人により時によりいろいろ違いましようが、その本質は、なんら変わるものではありません。

たとえ今、目の前に仏さまの姿は見えなくても、いつも三毒に苦しんでいる私どもを[〃]いかにして救おうか[〃]と心を悩ましておられるのです。そのことだけはどうか忘れないようにしていただきたいと思うのであります。

そうしたことがわかってまいりますと、今どのような状態であろうとも[〃]私は一人だけで、何にも、誰にも頼るものがない[〃]というような心はなくなると思います。どんな人でも、仏さまはちゃんと見守っていてくださり、[〃]救ってあげよう[〃]としてくださっているのです。

「孤露にして復恃怙なし」は何によってそうなるのかと申しますと、お金とか地位、夫婦とか親子、そういう目のあるものばかりを頼りにしようとするからです。

ですから、常に信仰というものの、心の中の信仰によってしっかりと心を持っていかなければいけないのです。それがあるまさんと、どうしても物・金、また目の前の姿に頼ろうとして、結局それがうつろなものになってしまうのです。

どうかそのところを、お間違いなさらぬようにしていただきたいと思うのであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (38)

無量義經 十功德品第三

爾の時に仏、大莊嚴菩薩摩訶薩及び八万の菩薩摩訶薩に告げて言わく、汝等当に此の經に於いて深く敬心を起し法の如く修行し、広く一切を化して勤心に流布すべし。常に當に懇懃に昼夜守護して、諸の衆生をして各法利を獲せしむべし。汝等、真に是れ大慈大悲なり。以て神通の願力を立てて、是の經を守護して疑滯せしむることなかれ。汝、當時において必ず広く閻浮提に行ぜしめ、一切衆生をして見聞し誦誦し書写し供養することを得せしめよ。是れを以ての故に、亦疾く汝等をして速かに阿耨多羅三藐三菩提を得せしめん。

その時に仏さまが、大莊嚴菩薩摩訶薩及び八万の菩薩摩訶薩におっしゃいました。

「汝等当に此の經に於いて深く敬心を起し法の如く修行し、広く一切を化して勤心に流布すべし」と。

第一に、本當にこのみ教えがありがたいと思う（深く敬心を起し）。第二に、自分の身にこれを実行して毎日の行いが仏さまのみ教えと一致するように努力する（法の如く修行し）。第三に周囲の人々を感化する（広く一切を化する）。そして第四に、このみ教えを弘めて進むことが大切と思う（勤心に流布す）。

第五は、仏さまのお心に背かないよう何度となく考えて行いを慎み、夜も昼も仏さまのみ教えを守護する

ように努力する（当に慇懃に昼夜守護して、諸の衆生をして各法利を獲せしむ）。

こうしたことの結果、多くの人々に大いなる利益を与えられるようになり、その思いのもとに進む人を「真に是れ大慈大悲」と言つて、本当の慈悲のある人である、と言われているのです。

「神通の願力を立てて」〓一切の人々を救おうという菩薩の願力を立てて、「是の経を守護して疑滞せしむることなかれ」〓このみ教えを守り、実行して、み教えが世の中に滞ることのないようにしなさい。そして、「当時において必ず広く閻浮提（今いる、この娑婆世界）に行ぜしめ、一切衆生をして見聞し読誦し書写しご供養することを得せしめよ」とは、このみ教えが世の中全体に伝わって、大勢の人々がみ教えの尊いことを知って、読んだり、書写するように、世間に弘めていってもらいたいと言われ、「是れを以ての故に、亦疾く汝等をして速かに阿耨多羅三藐三菩提を得せしめん」つまり、「あなた方が、世間このみ教えを弘めて、周囲をよくするための智慧を早く得られるよう導いてあげる」と言われているのです。み教えを弘めようとする人は、仏さまの仰せに従つて、仏さまと同じ智慧を具えるよう一層励みたいと思ふものであります。

是の時に大莊嚴菩薩摩訶薩、八万の菩薩摩訶薩と即ち座より起つて仏所に來詣して、頭面
に足を礼し遶ること百千帀して、即ち前んで胡跪し俱共に声を同うして仏に白して言さく、
世尊、我等快く世尊の慈愍を蒙りぬ。我等が為に是の甚深微妙無上大乗無量義経を説きた
もう。敬んで仏勅を受けて、如来の滅後に於いて当に広く是の經典を流布せしめ、普く一

切さいをして受持じゆじし読誦どくじゆし書寫しよしやし供養くようせしむべし。唯ただ願ねがわくは憂慮うりよを垂たれたもうことなかれ。

我等われら当まさに願力がんりきを以もつて、普あねく一切衆生さいしゆじゆうをして此この經きやうを見聞けんもんし読誦どくじゆし書寫しよしやし供養くようすることを得え、

是この經きやうの威神いじんの福ふくを得えせしむべし。

この時に大莊嚴菩薩摩訶薩は、八万の菩薩摩訶薩とともに起つて仏さまのみ前へ参り、頭を地面にすりつけてみ足を礼拝し、まわりを遶つて帰依する心を現しました。それから跪ひざまずいて、声を揃えて仏さまに申し上げました。

「世尊に申し上げます。私どもはありがたいことに世尊のお慈悲を蒙りました。世尊は私どものために、この甚深微妙無上の大乘無量義經を説いてくださいました。敬んでみ教えをお受け申しました。如来のご入滅の後に広くこの經を流布して、一切の人々がこの經を受持し、読誦し、書寫し、ご供養し、実行するよう導いていきます。どうかご心配なくおまかせください。私どもは願力を以って、普く一切の人々がこの經を見聞し、読誦し、ご供養できるよう努力してまいります。そして、仏さまの威嚴と尊さと感化力を人々に与えてまいります」

爾その時ときに仏ほとけ讃ほめめて言のたまわく、善哉ぜんざい善哉ぜんざい、諸もろの善男子ぜんなんし、汝等なんだち今者いま眞まに是これ仏子ぶつしなり。弘ひろき大慈だいじ

大悲だいひをもつて深く能く苦を抜き厄を救う者なり。一切衆生の良福田なり。広く一切の為に

大良導師だいろうどうしと作なれり。一切衆生の大依止処なり。一切衆生の大施主なり。常に法利を以て仏



く一切さい ほどに施せと。爾その時ときに大会だいえ皆大みなおおいに歡喜かんぎして、仏ほとけの為ために礼らいを作なし、受持じゅじして去さりにき。

その時に仏さまは讃めて申されました。

「よろしい。大変結構である。今こそ君達は本当の仏弟子と言える。広い大慈大悲の心を以って人々の苦を抜き、厄から救うことのできる、大勢の人々の良い福田である。一切の人々に幸福を生み出させる力を持つ、良い導師となって大勢の人々を導くことができる人である。大勢の人々が本当に頼りとして教えを受けられる人であり、すべての人々の大施主である。大勢の人々に大きな恵みを施し、大きな恩を施す働きのできる人であるのだから、いつもこのみ教えを実行する法利Ⅱ利益を広く人々に与えてあげてもらいたい」と。

このお言葉を聞き、多くの人々は喜んで仏さまにお礼を申し上げ、み教えをしっかりと胸に刻み、去っていきました。

今、私どももこの無量義経を拝読し、私どもの心が仏さまのお心と一致し、いつでも仏さまのみ心をわが心として法の如く修行していくならば、無量の善行を生ずると信じ、一層精進していきたいと思うものであります。

福社の ひろば



幸せのお手伝い

「帰る場所は心の中に」

面会のない日々を越えて

私が勤務し始めて5年目になった頃のお話です。担当入居者にAさんという方がいました。Aさんは、毎日のように面会に来る息子さんと言っている姿がよく見られました。その後、息子さんより「ご迷惑になると思うので母への面会は控えます」とお話があったそうです。Aさんが看取り期となり、ご家族と今後の支援について話しあっている際、息子さんへ面会時に、Aさんに会ってほしいことを伝えました。しかし、息子さんは頑なに「遠くから顔を見るだけにします」と言われ、

Aさんに会いには来ますが、話す姿は見られませんでした。

ある日、Aさんがベッドから起き上がり「家を見たいな。息子と一緒に暮らした家。もうだれも住んでいないかもしれない」と話されていたと聞きました。そこですぐに息子さんに連絡し、一緒に在所を見に行く計画を立てました。最初は、Aさんの体調を心配され、ご自身も顔を合わせたくない様子でしたが話し合いの末、行ってくださいることになりました。道中、不安そうな表情の息子さんとAさんと一緒に在所に向かうと、道は一部なくなっており、Aさんの体調もあって遠目か

ら見るだけとなってしまいました。それでも在所に着くと、息子さんを見ながら「〇〇、あんなに大きかった家がもうこんなにぼろぼろになってしまった」と息子さんの手を撫でているAさんと、その話に頷きながら泣いている息子さんの姿が今でも忘れられません。正直、その時のAさんと息子さんがどういった気持ちだったのかわかりませんが、外出後、息子さんもまた毎日のように面会に来られ、Aさんも息子さんも一緒にいる時の笑顔が増えました。

今回、たまたまだったかもしれませんがAさんの願いや、希望の一つが実現できたのではないかと感じました。そして、私自身もこのひと時に立ち会えたことに「幸福」を感じることができました。その時のお二人の笑顔ややりとりは、本当に忘れることができません。そしてこのひと時のよ

うな場に一緒に立ち会えるよう、今後も、入居者お一人おひとりの「幸福」の実現に向け努力していきたいと思っています。

ケアハウス高浜安立

介護員 グループリーダー 石原 隆志



みなよし地域包括支援センターが開所しました



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会
～みよし市より業務委託を受けて～

令和7年4月より、社会福祉法人昭徳会がみよし市からの業務委託を受け、「みなよし地域包括支援センター」を開所し、その運営を担うこととなりました。

当センターは、みよし市民病院の眼科外来の正面に位置しており、同じフロアの奥には、訪問看護ステーションがあります。病院内の外来スペースに設置されたことにより、医師から介護保険の申請を勧められて相談に来られる方や、受診の前後に介護保険や介護サービスに関する相談をされる方も見受けられます。

地域包括支援センターには、住み慣れた地域で、その方らしい暮らしを可能な限り人生の最期まで続けられるよう、地域全体を支える包括的な支援体制の整備が求められています。そのため、当センターでは大きく4つの業務を担っています。

一つめは、介護予防の支援です。要支援1・2と認定された方や、今後介護や支援が必要になる可能性のある方に対して、介護予防ケアプランの

作成や、介護予防サービスの案内、介護予防教室への参加促進などを通じて、介護が必要となることを防ぐための支援を行います。

二つめは、高齢者のさまざまな困りごとについて相談を受け、必要な制度やサービスを紹介し、問題の解決を図ります。

三つめは、権利擁護の取り組みです。

成年後見制度の活用支援や高齢者虐待の防止といった活動を通じて、高齢者が安心して生活できるように、その方の権利を守る取り組みを行います。例えば、判断能力が低下し金銭管理がむずかしくなった方に対して、金銭



的搾取や詐欺から守るために成年後見制度の活用を支援したり、虐待の早期発見と対応を行ったりします。

四つめは、高齢者にとって暮らしやすい地域をめざし、医療・保健・介護の専門職から地域住民まで、幅広い関係者とのネットワークを作り、地域ケア会議を通じて地域課題の共有と解決、調整を図ります。たとえば、ケアマネジャーへの個別相談・アドバイスや、困難事例への対応支援、介護予防ケアマネジメントの支援などを行います。

また、地域で生活される高齢者の中には、誰にも相談できずに単身で生活されている方もいらっしゃいます。家庭訪問を通して、必要な方に必要なサービスをつなぎながら、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活し続けられるよう、地域の方々に喜ばれる地域包括支援センターをめざしていきます。

みなよし地域包括支援センター

主任グループリーダー 山下 明美

『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで

～日本福祉大学付属高校～

付属高校では毎年、法音寺の皆さまからご寄贈いただいた『日本の福祉を築いたお坊さん』（星野貞一郎著、中央法規出版）を全新生に配布し、読書感想文を作成しています。今回はその感想の一部を紹介させていただきます。

「鈴木修学先生の人生を通じて」

1年A組 三石 実佑

修学先生の生き方には、本当の意味で「人を救う」とは何かを考えさせられた。特にハンセン病患者への支援に自らを犠牲にしてまで尽くした姿には、言葉では表せないほどの尊さを感じた。

当時、ハンセン病は偏見と差別の象徴のような病気だった。周囲から見放され、社会からも家族からも切り離された人達に対して、修学先生はただ同情するのではな

く、自ら療養所に入り、彼らと同じ目線で生きようとした。この覚悟と行動力は並大抵のものではない。医療も整っていない中での支援、しかも施設の運営まで担いながら、患者達に笑顔と希望を届け続けたのは本当にすごいことだと思う。修学先生は誰かに評価されたいから動いた訳ではなく、ただ「目の前の人を救いたい」という気持ちで自分の人生をかけた。私も人助けをするなど、優しくあることを心掛けている。しかし、心の奥底には「優しい人だと思って欲しい」という気持ちが生まれてしまっていた。自分の利益を無視して人を助けることはすごいことであり、修学先生は聖人だと心から感じた。

修学先生の行動は、福祉が単なる制度ではなく「覚悟と愛」の上に成り立っているということを教えてくれた。助けるとは、きれいごとではない。本当に助けるというのは、自分の生活を投げ出してでも、相手に手を差し伸

べることなのだと思う。修学先生のような生き方は今の時代でも大切にされるべきだ。自分とは関係はないと思いがちな苦しみにも目を向け、何かできることはないかと考えるその姿勢が、社会全体を温かくする第一歩になるのだと思う。私のこれからの生活で、小さなことでも誰かの助けになることをしていきたい。自分を犠牲にしてまで人に尽くすことは簡単ではないけれど、思いやりや優しさを持つことは、きっと今すぐにでも始められる。修学先生の生き方を忘れず、自分なりに誰かを大切にできる人間でいたい。

「誰かのためにできること」

1年B組 上田 心音

『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで、福祉とは人を尊重し思いやる「行動」から始まることを改めて感じました。差別や貧困、病気に苦しむ人々のために命をかけて尽くした修学先生の姿が描かれており、特に印象に残ったものは3つあります。一つ目はハンセン病についてです。ハンセン病は「うつる病氣」と差別され続けま

した。患者達は社会から隔離され、家族や地域とも引き離されて生きざるを得ませんでした。そんな中、修学先生は多くの人が避けた患者達に、恐れずに近づき、自分の宝物を質屋に出し、少しでも患者が快適に過ごせるように努力を続けました。修学先生は自ら行動し、福祉社会の在り方を示してくれました。二つ目は知的障がいについてです。私の母は十年以上障がい者施設で働いています。何度か施設へボランティア活動に参加しました。障がいのある人と関わる中で「わかり合うむずかしさ」「接するむずかしさ」について悩むことがあり、母に相談したことがありました。大変なことも多いけれど、分かち合えた時の喜びが多いと教えてくれました。まずは、相手を尊重する気持ちこそが大切だと感じました。三つ目は日本福祉大学についてです。日本福祉大学付属高校で福祉を学んでいるからこそ、福祉の価値や意義を実感することができました。知識や技術以上に、人と人とのつながりや信頼、そして行動する勇氣の大切さをこの本から学びました。困っている人がいたら、「自分に何ができるのか」を自然に考えられる人になりたいと思います。

した。また、障がいがあっても病気があっても、その人がその人らしく生きられるような関わりをしていきたいと思っています。そして日本福祉大学付属高校に入り、修学先生の心強い行動やすばらしさを通して、福祉について学ぶことができました。この本を通して得た気づきを、これからの生活に役立てていきたいと思っています。

「福祉は私達の近くにある」

1年C組 杉浦 可也

この本を読んで福祉という仕組みが生まれるまでには、たくさんの方の努力と強い思いがあったことを知りました。

修学先生は自分のことよりも人のことを思いやり、ハンセン病患者や子ども達のために働き続けました。世間から排除された人々を救うことはとても勇気がいり、理解者も少ないため大変です。苦しいことから逃げずに人の心を動かし、明るい心で生きた修学先生はとても努力家だと思いました。私はこの本を読むまで、福祉に対して病気などで困っている人々を助けるというイメージを持っていたけれど、福祉とは相手を「特別な存在」として

見るのではなく、自分と同じ一人の人間として向き合うことであるとわかりました。福祉というものがもっと身近なものであると知った今、私はこれからどう関わっていけるのか考えました。私はいつも困っている人に気づいてもなかなか勇気を出せずに誰か他の人が気づくのを待ってしまい、自分から行動することができていませんでした。しかし修学先生の生き方を知り、自分が完璧な人間でなくても小さな思いやりを積み重ねることならできるとは思いました。福祉とは誰かのために行うものではあるけれど、自分自身を成長させるものとわかりました。また福祉という大きな目標に感じてしまいうけれど、まずは日々の中で、身近な人を大切にすることを意識していきたいと思っています。この本に出会えたことをきっかけに、自分自身の在り方を見つめなおし、これからもっと思いやりのある行動ができるようにしていきたいと思いました。

日本福祉大学付属高等学校 教頭 今田 和弘

講演

一万人の犯罪者分析から学ぶ攻める防犯という考え方 — よかれと思つての落とし穴 — こどもを呪う言葉・救う言葉



講師

犯罪心理学者

出口 保行 氏

1985年大学院修了と同時に、国家公務員心理職として法務省に入省。以後全国の少年鑑別所、刑務所、拘留所で犯罪者を心理学的に分析する資質鑑別に従事。心理分析した犯罪者は1万人を超える。その他、法務省矯正局、法務省法務大臣官房秘書課国際室勤務等を経て、2007年法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し、東京未来大学こども心理学部教授に着任。2013年からは同学部長、2024年からは副学長を務める。

現在、フジテレビ「全力脱力タイムズ」にレギュラー出演しているほか、報道番組・情報番組へのTV出演は年間200本を超える。2022年に出版した「犯罪心理学者が教える子どもを呪う言葉・救う言葉」は、13万部を超えるベストセラー。海外で翻訳出版もされている。

2023年に出版した「犯罪心理学者は見た危ない子育て」もAmazonでベストセラー1位を獲得。

開催日時

2025年

10/4

13:30 ~ 15:30 ±
(受付 13:00 ~)

開催場所

法音寺 名古屋市昭和区駒方町 3-3

アクセス

公共交通機関をご利用の方

地下鉄鶴舞線川名駅3番出口より徒歩5分、いりなか駅2番出口より徒歩7分
名古屋市営バス「山中」停留所より徒歩3分

車をご利用の方

駐車場は台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



プログラム

13:00

受付開始

13:30

昭徳会の
紹介

14:00

講演

15:30

書籍販売・
サイン会



書籍販売、サイン会 あります

お申込みは
こちらから



2025年
9月30日(火)
までにQRコードから
お申し込みください。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：社会福祉法人 昭徳会

お問い合わせ先

社会福祉法人 昭徳会 法人本部事務局 福祉セミナー実行委員会
tel : 052-831-5171 mail : seminar@soutokukai.or.jp

幸せの種まき

毎日の行いが菩薩行です

修養を心掛け

良い因縁を作りましょう

信仰は「ひまな時にやる」とか
「都合のいい時にやる」という
ものではありません。

大乘山 法音寺



編集後記

お寺に来てご法話をうかがうと、その都度、日々の生活態度を反省し、また今日から心を正そうと思います。しかし、三日も経つとすっかり忘れてしまい、つい愚痴が口をついて出てしまう——それは凡夫の悲しさと言えるのかもしれません。「三日坊主」とは、よく言ったものです。

法音寺では「今日一日」という教えがあります。毎朝、「今日一日は三徳を実行しよう」と、一日に集中することで継続しやすくなるという教えです。

日達上人は、かつて次のようにお話しされました。

「毎日、歯を食いしばって堪忍しなければと思うと、苦しくなります。今日一日堪忍したら、次は目先を変えて、今日一日は貪らないようにしよう、今日一日は愚痴を言わないようにしよう」と、日替わりに実行していくと、新鮮味が出てやりやすくなると思います」

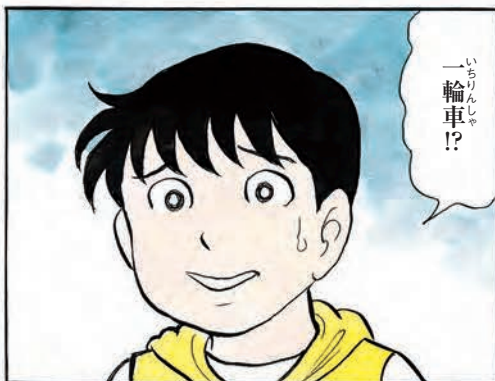
心穏やかな日々を実現するためにも、私達は日々反省しながら、三徳の実行を少しずつ積み重ねてまいりましょう。

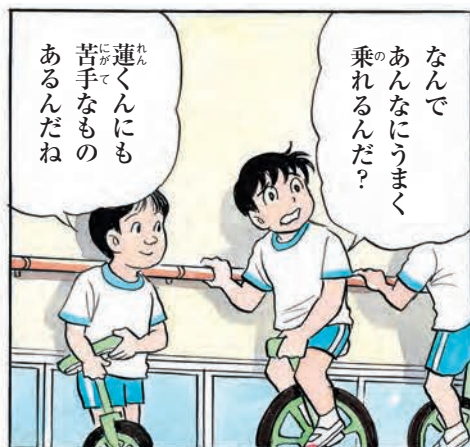
さ か あ そ ら 逆上がりでみた空

竹中 淳













蓮くん
おぼえてる？



ゴメン
ゴメン
蓮くん なんか
悩んでるように
みえたから心配で…



トモくんか…
驚かすなよ



運動神経
鈍すぎだろ

これ以上トモに
教えても無理
あきらめな



逆上がりができない
ほくに根気よく
教えてくれたのは
蓮くんだけだったよね

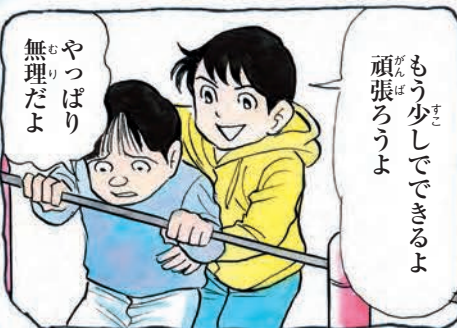


あの時 くじけそうな
ほくを蓮くんは
はげましてくれたよね



ううっ
ダメ…

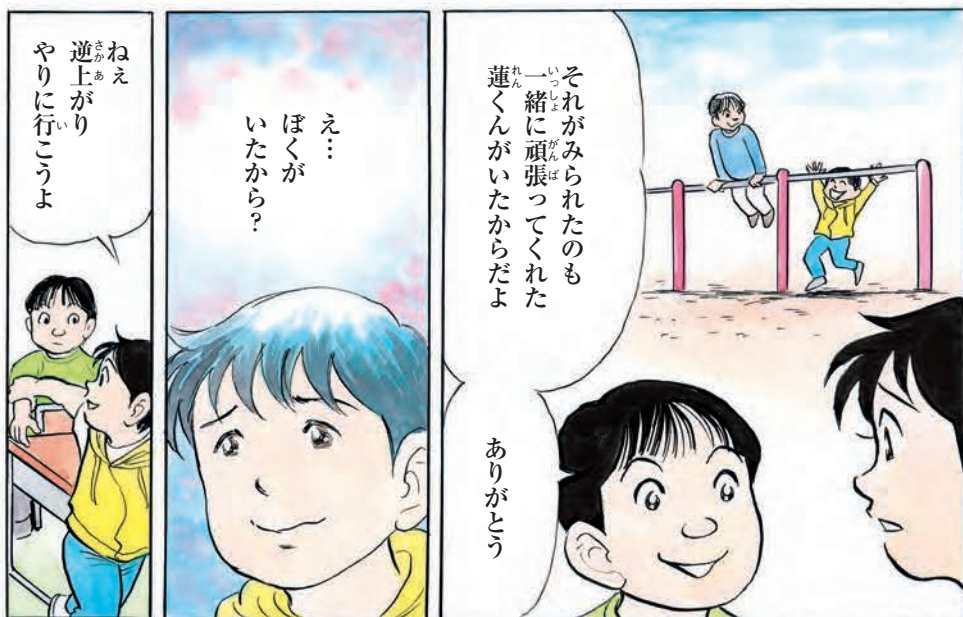
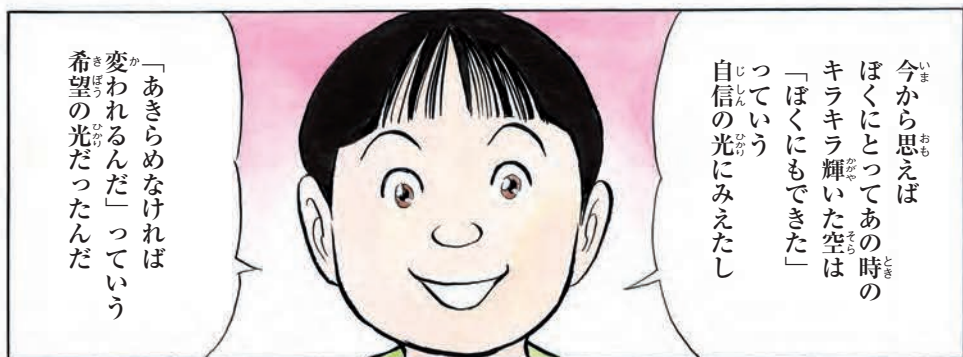
もつと 強く
引きつけて



やつぱり
無理だよ

もう少しでできるよ
頑張ろうよ

逆上がりつてさ
空がグルーッと
回ってね空がキラキラ
輝いてみえるんだよ
みてみたくない？





蓮くんが
いたからだよ

ねえ もうだれかと
比べるのやめない？



「ぼくなんか…」は
もう言わない



まだ人と比べちゃう
ほくだけど
昨日までのぼくより
自分が少し
好きになった

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂

《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135

<https://www.houonji.com>

FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日

午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式

facebookで

毎朝7時

『一日一言』

配信!!

こちらの
二次元バーコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日

法音寺メールマガジン

配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらの
二次元バーコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて

法音寺チャンネル

開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらの
二次元バーコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10

TEL.(052)831-5171

<https://www.syoutokukai.or.jp>



学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295

愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6

TEL.(0569)87-2211

<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和7年9月号・No.671・令和7年9月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社